

愛西民報

2019年
10・11月
第60号

〔発行〕
日本共産党
愛西市委員会

真野和久市議会議員（26）1465
河合克平市議会議員（25）7702
加藤敏彦市議会議員（28）3696

愛西市9月議会

子ども医療費無料化やっと実現へ

1万7065人の署名が市政を動かす

中学生の医療費無料化拡大

市長 来年4月から実施を表明

9月議会の一般質問で、日本共産党の河合かっぺい議員が、中学卒業までの医療費無料化拡大と高校生への拡大を求めました。河合議員のほか、保守会派の3人も医療費無料化・助成拡大の質問をしたことにより、すべての会派が要求したことになります。

9月議会の一般質問で、日本共産党の河合かっぺい議員が、中学卒業までの医療費無料化拡大と高校生への拡大を求めました。河合議員のほか、保守会派の3人も医療費無料化・助成拡大の質問をしたことにより、すべての会派が要求したことになります。



街の声

6年余り要求してきた事が、やっと実現します



思います。

嬉しい反面：こんなにも、要望が多いのに、実現するのに時間がかかりすぎたとも思います。

2014年からの市民の切実な願いに、反対し続けた議員の態度が変わった

「子どもの医療費無料化を進める会」は、無料化拡大を求め、2014年12月議会に、9298人の請願署名の提出し、以後も粘り強く議会への請願を行ってきました。

この間に11回の議会請願を行い、のべ1万7065人分（人口比27.5%）の署名が議会で審議されました。しかし、これらの請願は、日本共産党議員団以外の議員の反対で実現に至りませんでした。

ようやく、今年8月に、保守3会派が市長に中学生の医療費無料化を要望しました。

しかし、9月議会でも請願に反対する態度は、議会を軽視し、矛盾しています。

給食費3500円補助 共産党の要求が実現

10月から、保育園・認定こども園の3歳以上の児童957人、3歳未満の非課税世帯児童31人、幼稚園384人、合計1372人の児童の保育園費、幼稚園費が無償化。障害児の発達支援の利用料も無償になりました。

しかし、延長保育料は有料のまま。さらに給食の副食費（月4500円程度）は有料になります。

日本共産党市議団は、これまで市独自に補助し、10月から不要になる年間約7000万円の財源を使って、給食費などの負担軽減を求めています。

その結果、有料化された給食費に対して月3500円の補助をおこなうことが実現しました。



まずは消費税5%に戻して景気回復を！
みなさん署名にご協力ください

消費税10%
安倍政権が強いに強行

まずは
5%に
もどして
景気回復を！

日本共産党

平成30年度市の貯金 さらに増え約200億円 利子だけで1億5000万円

平成30年度決算では、愛西市の基金（貯金）は、昨年度より5億4779万円増えて196億9710万円と、さらに増加しました。基金の利子だけでも、1億5029万円にのびります。

また、地方交付税の減額は前年対比1%ほど。市は、「合併特例の廃止によって、毎年2億円、合わせて10億円の減収になり、大変厳しい財政状況となる」と説明していましたが、実際には、5000万円ほどの減額です。

サービス充実に活用を

この間削られた、学校教育予算、高齢者布団乾燥サービス、施設使用料・公共料金の値上げは、必要ないことは明

学校トイレ洋式化求め 署名を市長に提出

日本共産党愛西市議団は、8月30日、小中学校のトイレ洋式化を求める署名790人分を市長に手渡しました。

現在のトイレ改修計画のスピードでは、4～5年かかります。それでも、各学校の1棟の校舎が洋式化されるだけです。

エアコン設置を決断したときのように洋式化のスピードアップを求めました。



立田・八開の学校統廃合問題 教育委員会の説明に批判続出

学校統合で建設費約40億円かかる

9月21日、小中学校規模等適正化地域説明会が、八開中学校体育館と立田体育館で行われました。



教育委員会は①通学基準を徒歩2.5km、自転車6kmとし、それ以上に離れたところは、スクールバス通学にする。

②市の案の立田中への統合で新校舎の建設費には約40億円かかり、現在の校舎の改修や長寿命化を行うと1.1倍から1.7倍の費用がかかる。などが新たに説明されましたが、それ以外の詳しい計画はありませんでした。

グループ学習は小規模でこそしっかりできる


八開会場では、市民から批判や統廃合反対の意見が相次ぎました。

教育委員会は、小規模校のデメリットを①教師の目が届きすぎて先回りし小さな失敗体験を逃す、②専任の教員が配置できない、③コミュニケーション能力、社会性が伸び悩む、と説明したことに対し、会場から、①は教師の能力の問題だ、②は校長、教頭、主任も担当をもたせるべき、③はコミュニケーション能力を伸ばすグループ学習は小規模校でこそしっかりできる…などの批判が出ました。また、八開地区から立田中学校まで行く途中には、西川端小、佐織西中がある。生徒児童数が少ないというだけで統合してもだめだ。合理性、論理性もない。など、きびしい批判が相次ぎました。

教委「今後方針をを変える考えはない」

今後どうするのかとの質問に、教育委員会は「まだ具体的なことは進んでいない。第1案が理想と考えているが、地元は違うと理解した。反対でない人の意見も聞く必要がある。まだ説明していく段階だ」とあくまで今の方針を変える考えのないことがわかりました。

副市長も参加したため詳しい説明があるかと期待されました。しかしながら、地元の意見を反映させことをせず、あくまで自分たちの案を進めようとする教育委員会の姿勢はゆるせません。



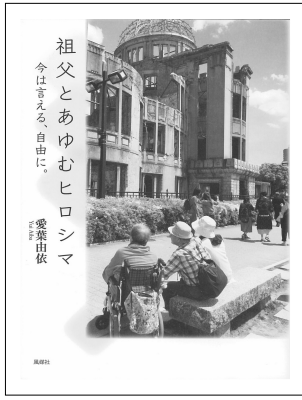
まの和久議員

日本共産党発行

しんぶん 赤旗

日刊●月 3497円
日曜版●月 930円

愛西市の読者ニュースが毎週折り込まれます。お申し込みは共産党市議まで



愛西市在住の加藤浩さん（「被爆者の会」代表）の被爆体験を、孫の愛葉由依さんがまとめた『祖父とあゆむヒロシマ』（風媒社）が出版された記事が中日新聞に掲載されました。かとう敏彦議員は、「愛西市や学校の図書室に置いて、市民の閲覧や生徒の平和学習がで

市内のヒバクシャの本 図書館や学校に配置を検討



かとう敏彦議員

愛西市在住の加藤浩さん（「被爆者の会」代表）の被爆体験を、孫の愛葉由依さんがまとめた『祖父とあゆむヒロシマ』（風媒社）が出版された記事が中日新聞に掲載されました。かとう敏彦議員は、「愛西市や学校の図書室に置いて、市民の閲覧や生徒の平和学習がで

津島市民病院への巡回バス 佐織南コースを延伸

かとう議員は、津島市民病院の愛西市民の地区別利用状況を確認。巡回バス検討委員会と、津島市民病院への乗り入れについての結論を聞きました。市検討委員会では、来年4月1日から佐織南コースを延伸する案となることでした。

愛西市民の利用比較（平成30年度）

	外 来	入 院
海南病院	53,805	33,050
津島市民病院	42,103	29,899
うち 佐屋	11,766	6,514
立田	4,203	4,063
八開	2,641	2,178
佐織	23,486	17,144
不明	7	0

さらに「巡回バスの運行の次の見直しはいつになるか」聞く。市は「5年先になるが、バスに乗れない状況があれば検討する」と答弁しました。



手話言語条例の制定を



河合かつぺい議員

河合かつぺい議員は、手話言語条例の制定を求めましたが、健康福祉部長は「先に条例の制定をしている県と協力しながら手話言語の理解を推進し、国が手話言語法を制定した後、それを準拠に市の条例の検討に入る」と答弁しました。

手話に対する支援の現状は

河合議員は、市の手話など聴覚障害者に対する現状を質問。部長は「市内には、海部津島聴覚障害者協会愛西支部に所属する手話サークル「さる」と「虹の会」の2団体があり、精神的に活動している。現在は、手話奉仕員養成講座の開催、手話通訳者派遣事業を行っている。今年度から、社会福祉課窓口で週1回手話通訳者を配置し、各種手続きなどへの対応をしている。また、災害時にはコミュニケーションボードを使って意思疎通を行うこととしている」と答弁しました。



必要だ」と市長の見解を聞く。市長は「手話への理解を進め、使用しやすい環境を整え、全ての市民がお互いに理解し、共生社会の実現に向け努力する」と答弁しました。

過去に手話を禁止してきた歴史があり、ろう者の人権は認められない状況でした。言語として手話を認めた障害者権利条約や障害者基本法により、手話を認知・普及し、手話ができる環境を整備していくことは、かつての苦難の歴史を二度と繰り返さず、手話によって自由にコミュニケーションがとれ、差別のない人権が守られる社会になります。6月14日、国会に、立憲民主党、国民民主党、共産党、社会民主党の野党4党共同で手話言語法案を提出しました。現在は、閉会中審査の扱いになっています。

解説

